

富山和子(とみやま かずこ) 評論家、日本福祉大学客員教授、立正大学名誉教授
1933年群馬県生まれ。早稲田大学文学部卒業。水問題を森林林業の問題にまで深めたこと、また「水田はダム」の理論でも知られ「日本のレイチェル・カーソン」と呼ばれ、その総合的な研究は「富山学」と呼ばれる。著書『水と緑と土』は環境問題のバイブルといわれ40年近いロングセラー。
自然環境保全審議会委員、中央森林審議会委員、河川審議会専門委員、海洋開発審議会委員、瀬戸内海環境保全審議会委員、中央公害対策審議会委員、林政審議会委員、「日本名水百選」選定委員、「日本の棚田百選」選定委員、食料・農業・農村基本問題調査会委員、国際コメ年日本委員会副会長、田園空間博物館中央委員など歴任。水の文化研究所理事長。
1990年版より「富山和子がつくる日本の米カレンダー、水田は文化と環境を守る」を制作、農林漁業を守るキャンペーンを続けている。2012年みどりの文化賞受賞。

主な著書

『知性への挑戦——青梅裁判批判——』(隣人社)1966、広津和郎序文、松本清張おび
『自動車よ驕るなかれ』(サイマル出版会)1970
『水と緑と土』(中公新書)1974
『川は生きている』(講談社)1978 産経児童出版文化賞、青少年読書感想文全国コンクール課題図書
『水の文化史』(文芸春秋)1980
『道は生きている』(講談社)1980
『森は生きている』(講談社)1981
『ひみつの山の子どもたち』(新版、童話屋)1997
『日本再発見、水の旅』(文芸春秋)1987
『日本の米』(中公新書)1993
『お米は生きている』(講談社)1995 産経児童出版文化賞大賞、青少年読書感想文全国コンクール課題図書
『水と緑の國、日本』(講談社)1988 英訳つき、日本の米カレンダー10周年記念出版
『環境問題とは何か』(PHP新書)2001
『日本の風景を読む』(NTT出版)2005
『水と緑日本の原風景』(家の光協会)2008 英訳つき、日本の米カレンダー20周年記念出版
『海は生きている』(講談社)2009 青少年読書感想文全国コンクール課題図書
『水と緑と土』(中公新書)改版2010
『水の文化史』(中公文庫)2013
『水の旅』(中公文庫)2013

なお『川は生きている』など「生きているシリーズ」も環境問題のバイブルといわれ、小中国語教科書に載っているほか、大学教科書にも使われ、大学入試にも出題されるなど、教育や行政の現場で広く活用されている。1997年にはハーバード大学に招かれ、「水と日本文化」と題して講演。日本農業の伝統を再評価することこそ地球の生き残る道と訴え、反響を呼んだ。

日本社交舞踊教師協会会員。踏歴51年。